



米食べて環境保護を

阪急西宮 松蔭高生、地産地消PR

西宮市高松町の阪急西宮ガーデンズで27日、私立松蔭高(神戸市灘区)の3年生46人がごはんをテーマにし

▲
ごはんをテーマにした展示に見
入る買い物客ら(西宮市高松町
の阪急西宮ガーデンズで)

たイベント「Rice Action Campaign キャンペーン」

を開いた。展示やクイズを通じて米食をPRし、国産米や地元食材の使用が環境保護につながると訴えた。

社会問題について学ぶ授業の一環で、メンバーは昨

年12月から、街頭アンケートをしたり、滋賀県の農家を訪ねて取材したり、準備を進めてきた。

パネル展示では、海外か

らの食材輸入で大量の二酸化炭素(CO₂)が排出されていることをイラストで解説したほか、「腹持ちがいい」など米食の様々な利点を紹介。ステージでは、食料自給率や地産地消につ

いての理解を深めるクイズ大会も行われた。

3年町田展子さん(18)は「毎日1食をごはんに切り

替えるだけで、環境を守る大きな力になる。身近なエピソードとして広がってほしい」と話していた。